

営農情報

りんご黒星病対策

山形県内で多発している【りんご黒星病】は、当JA管内でも大きな問題となっています。

黒星病は地域一丸となって対策を行い、撲滅する必要があります。

本年1月に行ったりんご花芽調査の結果では花芽分化率が高かったものの弱小芽（3mm以下の芽）の割合が高い傾向にあり、今後は黒星病防除の徹底によってロスを少なくする管理が重要です。

黒星病の孢子飛散開始日は、消雪日を起点として日平均気温の積算温度と飛散条件を満たす降雨日で飛散感染します。

今年は小雪の為、雪解けが早く黒星病の孢子飛散が早いことが予想されます。

計画的に剪定作業を進めて頂くと共に休眠期防除の実施と、生育ステージにあった防除、薬剤散布間隔が空きすぎ無い事、薬剤散布量の見直しによる散布ムラの改善などにより撲滅に向けた地域ぐるみの対応をお願い致します。

